

はじめる、 はじまる、 わたしたちの 高岡

高岡市総合計画概要版



未来の高岡って、 誰がつくるのかな？



たっくん

ボク、
つくってみたい!

たっくんは、
たのしいなあ



高岡に来たばかりの
大学生 夢野くん
アートやデザインが好きな
高岡ビギナー

夢野くん、知ってる？

高岡市の総合計画には、
「すべての『ひと』が、まちづくりの主演」
って書いてあるの!



たっくんのママ
のぞみさん

高岡生まれ、高岡育ち。
大好きな高岡を
もっといいまちにしたいと
思っている。

夢野くんも、高岡のまちづくりの主演よ。
たっくんも、
その気持ちを大事にしようね。

未来の高岡は、
わたしたちみんながつくるもの

私たちが暮らす高岡の未来を考えること。
それは、とても大切なことなの。
今日は、みんなで学びましょう!



「総合計画」って、何ですか？



高岡の未来をつくっていくための
方策をまとめたものなの。

まちづくりを進めるための
「みちしるべ」ってこと
なんですね!



まちづくりを進めるために
大切なもの、
それが、「総合計画」です。

詳しくは、次のページから
説明するね。

まず、「高岡市総合計画」の全体イメージを図解します!

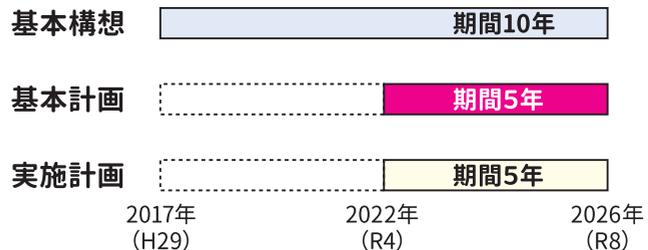
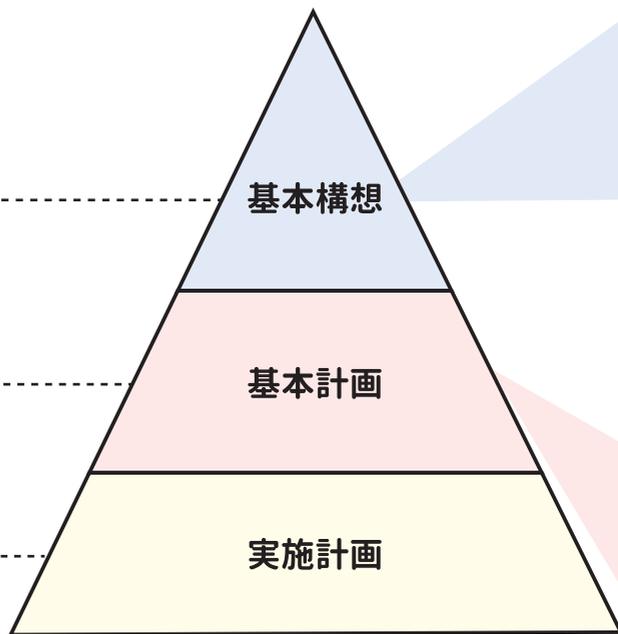
「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つから構成されているんですよ!



まちの将来像や、まちづくりの方向性、それらを実現するための方策をまとめたものです。

具体的な現状と課題を整理して、施策をどのように展開していくかをまとめたものです。

基本計画の施策に基づいた具体的な事業の内容や実施時期を明らかにするものです。



これが、「基本構想」にある高岡の将来像なんですね。



●まちの将来像

「豊かな自然と歴史・文化につつまれ
人と人がつながる 市民創造都市 高岡」



今回つくったのは、「第4次基本計画」です

第4次基本計画は、ここに注目!

Point 1 「ひとの力」が大切

Point 2 「変革」に挑戦

Point 3 「次の世代」からも共感を得ることができるまちづくり

ここから、「注目ポイント」を詳しく見ていきましょう!

Point 1

「ひとの力」が大切!



「ひと」とは、高岡市で暮らす住民の皆さん、高岡市に関わり、いろいろな活動に取り組むすべての個人や団体を意味しています。

私たちのまちには、これまで築き、磨き上げてきた「都市の強み」「まちの魅力」があります。今後は、それらを活かす「ひと」がまちづくりの主役です。

「都市の強み」

東西軸と南北軸が交差する交通の要衝であり、3大都市圏からほぼ等距離に位置するなどの地の利や、伏木富山港や富山空港、北陸新幹線開業やアクセス道路などの整備を進め、「都市の強み」を構築してきた。



伏木富山港



新高岡駅



高岡砺波スマートインターチェンジ

「まちの魅力」

ものづくりのまちに受け継がれる伝統技術の保存・継承の取り組みや、歴史・文化資産の保存・活用を図ることで、「まちの魅力」を磨き上げてきた。



高岡御車山祭



金屋町



国宝 高岡山 瑞龍寺

まちづくりの主役は、「ひと」

「高岡が、好き」が、まちづくりの力になる。

「高岡が、好き」「とてもいいまち」「みんなに自慢したい」。皆さん一人ひとりの「好き」という思いが、まちづくりの大きな力になります。好きなこと、得意なこと、希望や願いが集まって、高岡の未来への原動力となるのです。

わたし、アイデアを考えるのが得意だから、まかせて!

いつまでもきれいな海を守りたい

みんなで大きなアートをつくってみたい

高岡をもっと楽しく発信しよう!

獅子舞を子どもたちに伝えたい

友だちに自慢して、高岡ファンを増やそう!

わたしたちには、いろんな知恵があるよ

健康と幸せのためにがんばる

あ、じゃあボク手伝いますよ!



Point 2 「変革」に挑戦！
時代に応じた変化を
暮らしや働き方に取り入れていくこと



新しい時代の潮流を積極的に取り入れて
暮らしをより豊かにしていくことが
大事ですね。

今の潮流って、
どんなのがあるのかな？



たとえば
「地方創生」、「DX(デジタルトランスフォーメーション)」、
「Society5.0(ソサエティ5.0)」、「SDGs(エスディーゼーズ)」
などがあります。

「地方創生」

それぞれの地域で住みよい環境を確保して、人口減少・少子高齢化に対応し、
将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目指すもの。

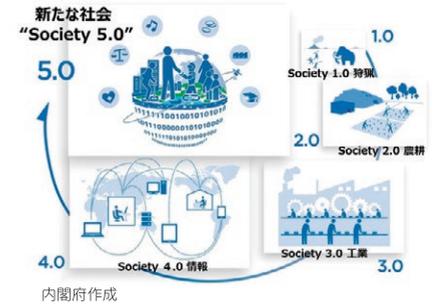
「DX」

デジタル技術が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

「Society5.0」

“仮想空間”と“現実空間”を高度に融合させることにより、「経済の発展」と「社会的な課題」のどちらも解決し、人々が快適で活力に満ちた生活を送ることができる「人間中心の社会」。

狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、
情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を目指すもの。



「SDGs」

2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、「2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標」。「誰一人取り残さない」を理念としている。

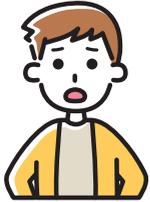
時代の潮流は、経済社会情勢によって変化していくため、

その変化に柔軟に対応して、「SDGs」の理念「誰一人取り残さない」まちづくりを進めることが大切です。

Point 3

「次の世代」からも共感を得ることができるまちづくり

「次の世代」って？



「次の世代」とは、20～30年後に社会を担う人たちのことです。



でも、「高岡市総合計画」の基本構想は10年、基本計画は5年の期間ですよね？

それよりもっと先、そのときに生きている人のことも考えていかなきゃね！

20～30年後の人たちが、「高岡って、いいまちだね」と思えるように、持続可能なまちづくりを進めることが大切

第4次基本計画の5年間でやるべきことで、20～30年後の未来が決まる

それが、「総合計画」に込めた考えです。

「第4次基本計画」に掲げられた「施策」の一つひとつには、5年後の目標値が設定されています。PDCAサイクルによる見直しを毎年度実施して、計画を前へ前へ進めていくんですよ。



たっくんや子どもたちが大人になった時の高岡が、いいまちであってほしいな



たっくんのパパ友也さん

総合計画には、
「17のめざすまちの姿」があるのよ!

「17のめざすまちの姿」を一つひとつ形にして、
「まちの将来像」を実現するの。



地域産業



1. ものづくり産業が時代の流れに対応し、 活性化している

- ① 新たな事業活動の創出
- ② 地域産業の競争力強化
- ③ 産業基盤の整備・企業立地の推進
- ④ 中小・小規模企業の経営基盤強化
- ⑤ 雇用・勤労者福祉の充実

新しいことに挑戦している
企業がたくさん
あるんだね



2. 水・緑・食が豊かで暮らしにうるおいがある

- ① 農業の持続的発展
- ② 農山村の振興
- ③ 林業の振興
- ④ 水産業の振興

高岡の美味しいお米や
お野菜だいすき



歴史・文化



3. 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が 大切に継承され、輝いている

- ① 文化財の保存・活用
- ② 歴史的風致の保全・活用



4. 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの 文化が息づいている

- ① 地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成

高岡の歴史資産は、
ぼくたちの誇り。
守り、伝えていこう!



交流・観光



5. 高岡の魅力を積極的に発信し、 たくさんの方が訪れるようになっている

- ① 観光資源の発掘と保存・活用
- ② 広域観光の推進
- ③ イメージアップ・誘致活動の強化
- ④ 国内・国外交流の推進
- ⑤ インバウンドの推進



6. 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

- ①商業・サービス業の振興
- ②中心市街地活性化の推進
- ③市街地の整備
- ④住宅・宅地の整備
- ⑤良好な都市景観の創出

暮らしやすいまちが
いいよね!



7. 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている

- ①高岡駅・新高岡駅の周辺整備
- ②高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備
- ③港湾の整備・活用
- ④広域連携の推進

子育て・教育

たっくんは、近所の人に
よく声をかけて
もらっているね!



8. 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる

- ①教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実
- ②新たな子育て情報提供システムの構築
- ③安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実
- ④地域の子育て力の応援



9. 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている

- ①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進
- ②地域に開かれた特色ある教育活動の充実
- ③教育効果を高める教育環境の充実
- ④高等学校・高等教育機関の充実・連携



10. いくつになっても興味のあることを気軽に学んでいる

- ①ライフステージに応じた生涯学習の振興
- ②未来を担う世代の育成と若者が主体となるまちづくりの推進

まちづくりに
参加してみたいな



11. いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる

- ①生涯スポーツ活動の充実
- ②スポーツ施設の充実と効率的な活用

かっこよく
シュートを決めるよ!





12. 誰もが生き生きと自立して暮らしている

- ①地域福祉の推進
- ②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実
- ③高齢者福祉の充実

高岡でずっと
元気で暮らしたいなー!



13. 健康的な生活を送り、 必要な時に適切な医療を受けられる

- ①生涯を通じた健康づくりの推進
- ②医療体制・医療制度の充実

健康診断を
毎年受けよう!



14. 地域の人々の手で環境が守られている

- ①環境保全意識の高揚
- ②環境保全対策の充実
- ③ごみの減量化・資源化の推進

ごみを少なくするのが
大事なんだって



15. 安全で快適な生活を送っている

- ①防災対策の充実
- ②消防・救急・救助体制の充実
- ③道路整備、交通安全・防犯対策の充実
- ④緑化の推進と保全
- ⑤河川・海岸の保全・整備
- ⑥雪対策の充実
- ⑦上・下水道の整備
- ⑧消費生活の向上

日頃の対策が大事なの。
私たちも、
備えましょう!



16. その人らしさが尊重され、 お互いに助け合いながら幸せに暮らしている

- ①市民が主役の地域づくりへの支援
- ②多文化共生社会の推進
- ③男女平等・共同参画社会の実現
- ④平和な地域社会の形成



17. 市役所が市民に信頼され、 責任を持って取り組んでいる

- ①市民に開かれた市政の推進
- ②高度情報化の推進
- ③簡素で効率的な行財政の推進

TAKAOKA 未来イメージ

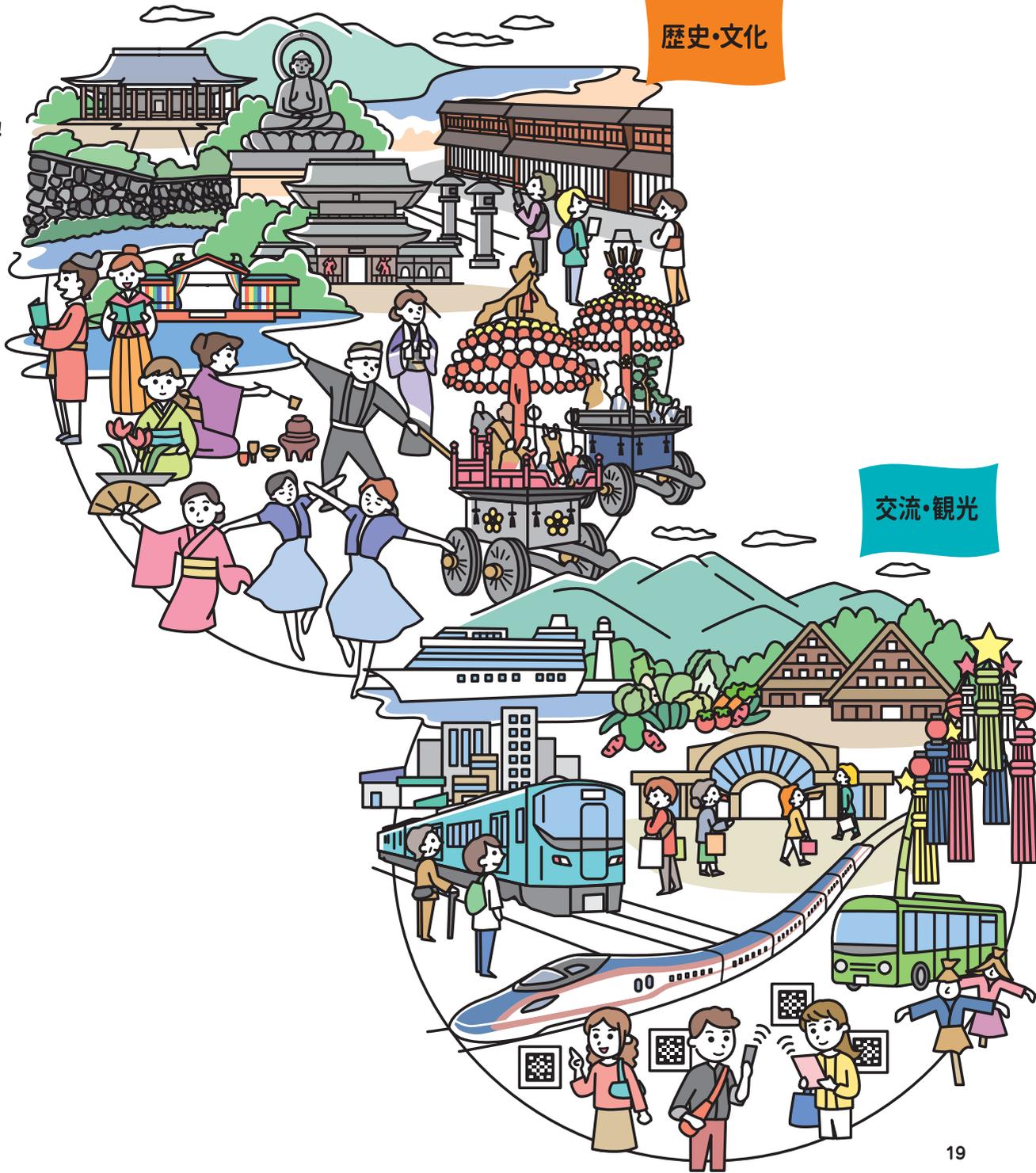
総合計画が描く未来の高岡

地域産業



イラストを
描いてみたよ!

17のめざすまちの姿を
実現した高岡は、
こんな感じかな?



歴史・文化

交流・観光

TAKAOKA 未来イメージ

総合計画が描く未来の高岡

子育て・教育



安全・安心



みんなで、
未来の高岡を
つくっていこう!

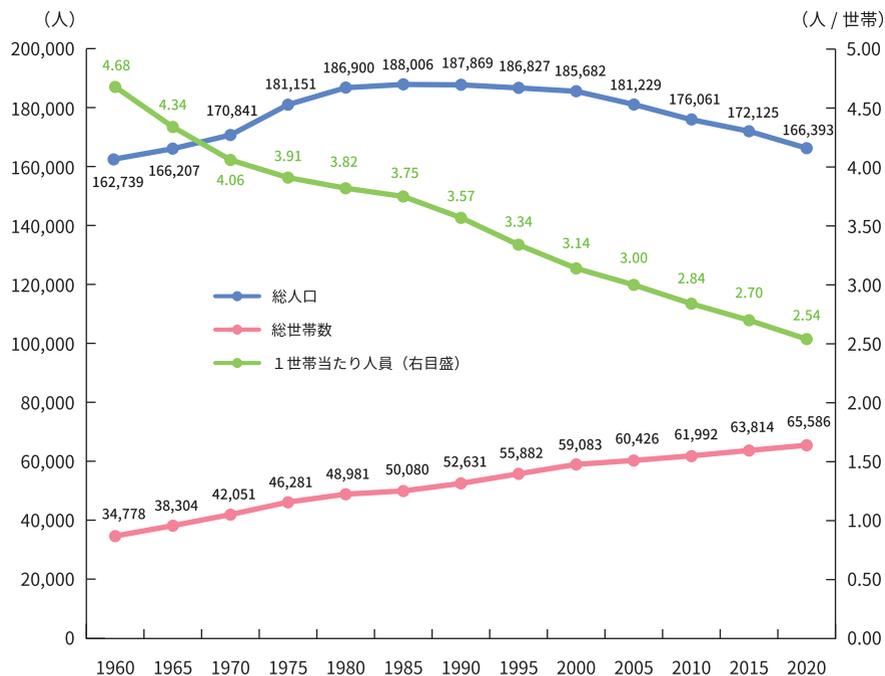


「高岡市の人口」を、 グラフで見よう!

グラフから、
いろいろなことが
わかるよね!



【高岡市の総人口と総世帯数】



出典:国勢調査 ※平成17年(2005年)以前は、旧高岡市と福岡町の合算



人口は、減っていますね。
世帯数が増えているけど、
1世帯あたりの
人数が減ってきている
からなんです。

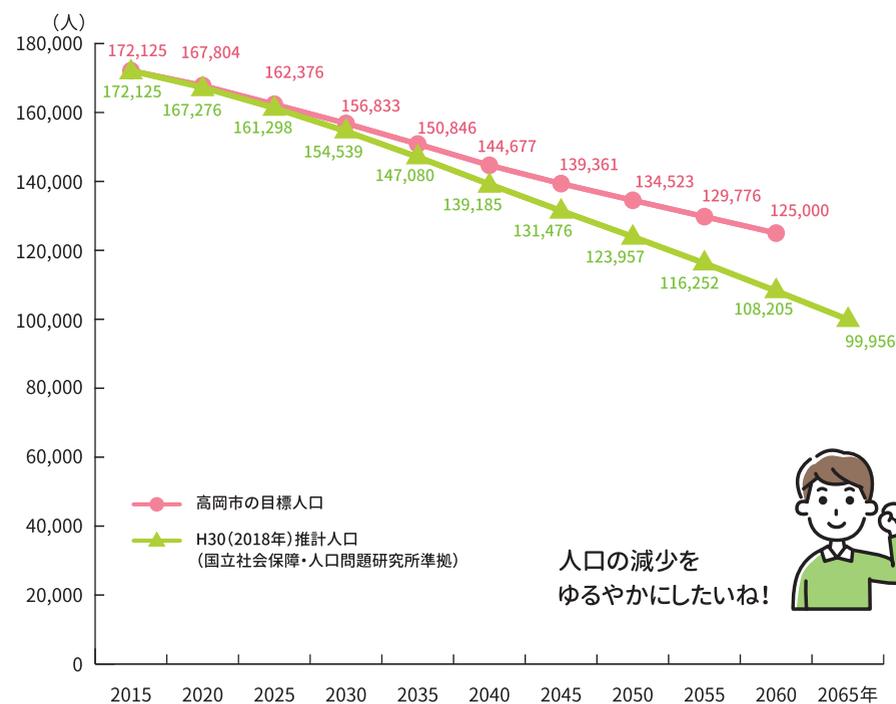
【年齢3区分別人口と高齢化率の推移】 出典:国勢調査 ※総数に年齢不詳を含む



青や黄色の年代が少なくなって、
緑の年代が増えている。
少子高齢化が進んでいるってことだね。



【将来人口の推計】



人口の減少を
ゆるやかにしたいね!



高岡深掘り! クイズ

もっと高岡を知ろう!

高岡の魅力は、
奥が深いよ!



Q1.高岡のお祭りで、全国で5つしかない

国の重要有形・無形民俗文化財の両方に指定されている
お祭りはどれでしょうか。

- ① 伏木曳山祭(伏木神社春季例大祭)
- ② 福岡町つくりもんまつり
- ③ 高岡御車山祭(高岡^{せきの}關野神社春季例大祭)



伏木曳山祭(けんか山)



福岡町つくりもんまつり



高岡御車山祭

答えは③ 高岡御車山祭(高岡^{せきの}關野神社春季例大祭)

国の重要有形・無形民俗文化財の両方に指定されているお祭りは、高岡御車山祭のほか、「京都祇園祭」「高山祭」など全国に5つしかありません。

①は、夜に山車同士を激しくぶつけ合うことから、「けんか山」とも呼ばれるお祭り、②は、野菜や果物を使った見立て細工「つくりもん」を展示する300年以上続く奇祭です。

Q2.高岡のお寺の中で建物が県内唯一の国宝に指定されているのは
どれでしょうか。

- ① 摩頂山 国泰寺
- ② 高岡山 瑞龍寺
- ③ 雲龍山 勝興寺



摩頂山 国泰寺



高岡山 瑞龍寺



雲龍山 勝興寺

答えは② 「高岡山^{こうこうざん} 瑞龍寺」

高岡のまちを開いた前田利長公を弔うために建てられました。

①は、禅の修行道場として有名な臨済宗国泰寺派の大本山、③は、23年間の平成の大修理を経て、令和3年に江戸時代後期の姿によりがえったお寺です。

Q3.高岡には重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区が
複数あります。いくつでしょうか?

- ① 2つ
- ② 3つ
- ③ 4つ

答えは②

「山町筋」「金屋町」「吉久」の3つです。

重要伝統的建造物群保存地区のある103の市町村の中で高岡以外に3つ以上選定されているのは、「京都市」「金沢市」「萩市」しかありません。

(注) 城下町・宿場町・門前町など、国が選定した全国各地に残る歴史的な集落・町並みです。



山町筋



金屋町



吉久



ちょっと
わかんない

Q4.ドラえもんなど多くの漫画の作者である藤子・F・不二雄先生は

1933年12月1日に高岡市で生まれました。

先生は、何歳まで高岡に住んでいたでしょうか。

- ① 1歳
- ② 12歳
- ③ 20歳

答えは③ 20歳

高岡市は、藤子・F・不二雄先生が20歳になるまで暮らし、まんがが家になる夢を育んだふるさとです。市内には、先生のまんがの原点に触れられる「高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」や、作品のキャラクターに出会える場所がたくさんあります。



高岡おとぎの森公園「ドラえもんの空き地」



高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー
©Fujiko-Pro

まちづくりの主角は、「ひと」です。

「高岡が好き」が、まちづくりの力になる。

あなたの「高岡が好き」を、集めよう!

あなたの「好き」ポイントは?

家族や友だちと
一緒に考えると、
発見があっていいかも!



あなたが思う「未来の高岡」は?

20~30年後の高岡は、どんなまちですか?

友だちが
いっぱいいるまち!



未来のあなたと高岡のために、できることは何でしょうか?

さあ、わたしたちの高岡を
はじめよう!

